# すべての企業を世界につなぐ 言葉のコンシェルジュ

2019年9月

株式会社翻訳センター(ジャスダック 証券コード:2483)

代表取締役社長 二宮俊一郎



### I. 翻訳センターとは

Ⅱ. 今後の戦略~第四次中期経営計画

Ⅲ. 2020年3月期 通期予想と1Q実績

Ⅳ. 株主還元



### 1. 会社概要

■会社名 株式会社 翻訳センター

■代表者 二宮 俊一郎

■本社所在地 大阪府大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号

■設立 1986年4月

■ 資本金 5億8,844万円(2018年3月末現在)

■連結売上高 120億875万円(2019年3月末現在)

■事業所 【国内】大阪、東京、名古屋、福岡(営業所)

【海外】サンフランシスコ、ニューヨーク(営業所)

■連結従業員数 507人(2019年3月末現在)

■関係会社 「事業内容〕 (株) アイ・エス・エス [通訳、人材派遣、コンベンション]

(株) アイ・エス・エス・インスティテュート [通訳者・翻訳者育成]

(株) 外国出願支援サービス [海外への特許出願支援]

(株) パナシア [メディカルライティング]

(株)メディア総合研究所 [翻訳]

HC Language Solutions, Inc. [翻訳、通訳]

ランゲージワン(株) [多言語コールセンター]



### 2. 沿革

1986年4月	大阪・道修町に医薬専門の翻訳会社として設立
1988年9月	工業分野の翻訳サービスを開始
1997年8月	特許分野の翻訳サービスを開始
1998年4月	金融・法務分野の翻訳サービスを開始
2006年4月	大阪証券取引所「ヘラクレス」上場(現・東京証券取引所「JASDAQ」)
2006年11月	HC Language Solutions, Inc. 設立(アメリカ、カリフォルニア州)
2010年12月	株式会社外国出願支援サービス 設立
2012年9月	株式会社アイ・エス・エスをグループ会社化

2014年10月 株式会社パナシア 設立

2015年4月 ランゲージワン株式会社 設立

2017年10月 株式会社みらい翻訳に資本参加

2017年11月 株式会社メディア総合研究所をグループ会社化

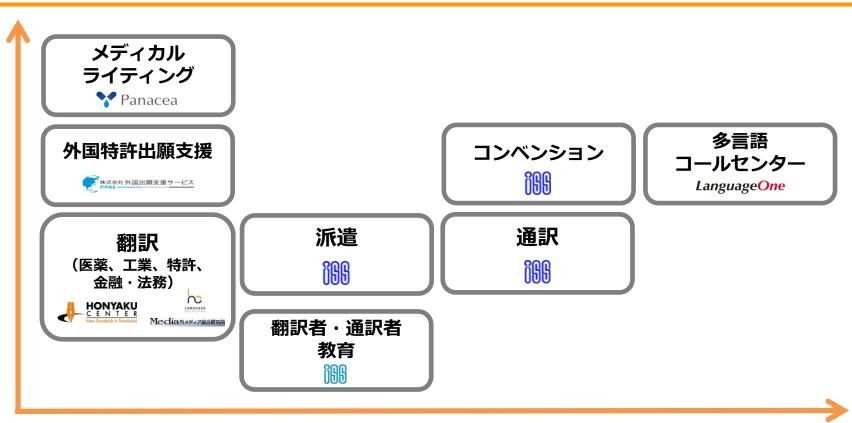
2018年2月 東京本社設置(大阪本社との二本社制)



### 3. 事業内容

#### 専門性深耕と事業領域拡大の両立=翻訳センターグループ

専門性深耕



事業領域拡大



### 4. 事業別売上高構成比

連結売上高120億の約70%(約85億)は翻訳事業が占める

#### 2019年3月期 事業別売上高構成比



※語学教育事業はその他に含めて報告



### 5. 翻訳・通訳の国内市場規模

#### 当社は翻訳・通訳の国内市場の伸びを上回る成長を続けている







I. 翻訳センターとは

Ⅱ. 今後の戦略~第四次中期経営計画

Ⅲ. 2020年3月期 通期予想と1Q実績

Ⅳ. 株主還元



### **1. 第四次中期経営計画** (2019年3月期~2021年3月期)

#### 基本方針

日本を代表する言語サービスのコンサルティング企業を目指し、最新のテクノロジーを活用 したソリューションビジネスへの転換を図り、翻訳事業の高付加価値化を実現する。

#### 重点施策

ソリューション提案力の 強化

- ●専門特化サービスの集合体と しての強み・価値の訴求
- ◆各種ツール・ソフトウェアを 活用した翻訳業務の効率化の 提案

#### 言語資産の活用

- 中長期的な競争力を支える言 語資産の蓄積と運用のための 環境整備
- ●翻訳作業工程のIT化による 品質の安定と生産効率の向上

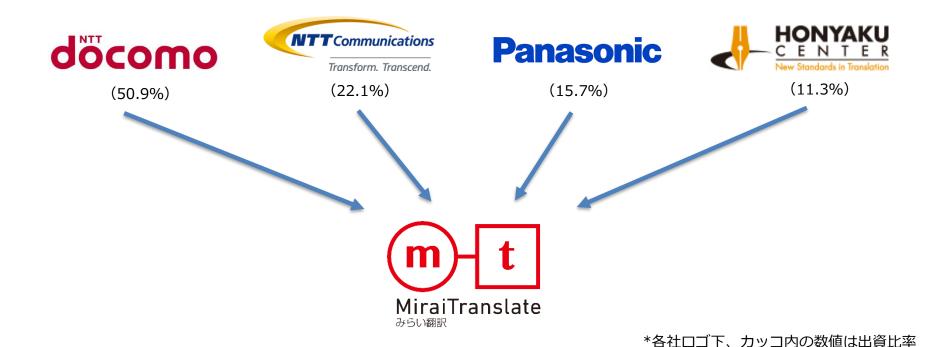
#### 経営基盤の整備

- 業務プロセスの標準化と自動 化による生産性の向上
- ●環境の変化に対応するための 人材育成と組織機構の最適化



### 2. 機械翻訳の取組みー(株)みらい翻訳との協業

機械翻訳エンジン開発会社(株)みらい翻訳に資本参加(2017年10月)



### 2. 機械翻訳の取り組み Mirai Translator™ デモンストレーション



出典: (株) みらい翻訳 ウェブサイト (https://miraitranslate.com/trial/)



### 3. 機械翻訳の戦略的位置づけ

#### ■機械翻訳の戦略的位置づけ

#### (1)翻訳工程の生産性向上

翻訳工程に機械翻訳を導入し、成果物の品質安定と翻訳業務の効率化を図る

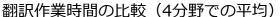
#### (2)機械翻訳導入顧客における顧客内シェア拡大

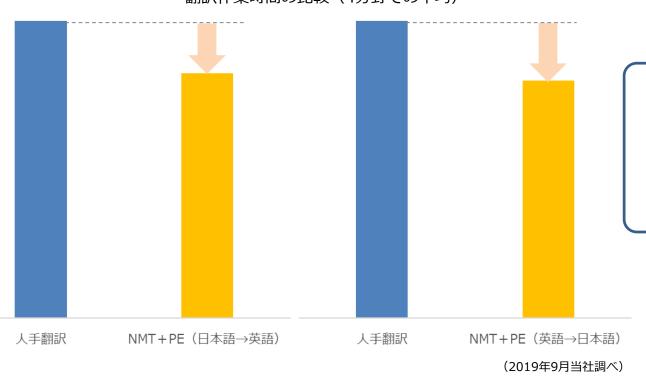
外販した機械翻訳エンジンの再学習を当社が支援 (人手翻訳の成果物をコーパス(対訳データ)化して、再学習時に使用) →機械翻訳の販売を通じて人手翻訳の発注増加と顧客内シェア拡大を目指す



### 3. 機械翻訳の戦略的位置づけ (1) NMT活用による生産性向上

#### 翻訳工程に機械翻訳を取り入れることで、翻訳作業時間の短縮を実現





機械翻訳(NMT)と PE\*の活用で 人手翻訳に比べ **約25%**の時間短縮を実現

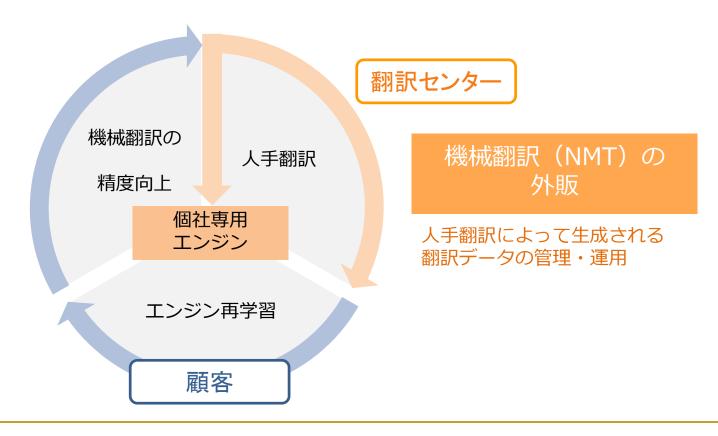
> \*ポストエディット、機械翻訳(NMT)で 翻訳した文章を校正し、人手翻訳に近づける作業



### 3. 機械翻訳の戦略的位置づけ (2) NMTを活用したビジネスモデル

#### NMTを活用した翻訳循環構造の構築で顧客内シェアを拡大

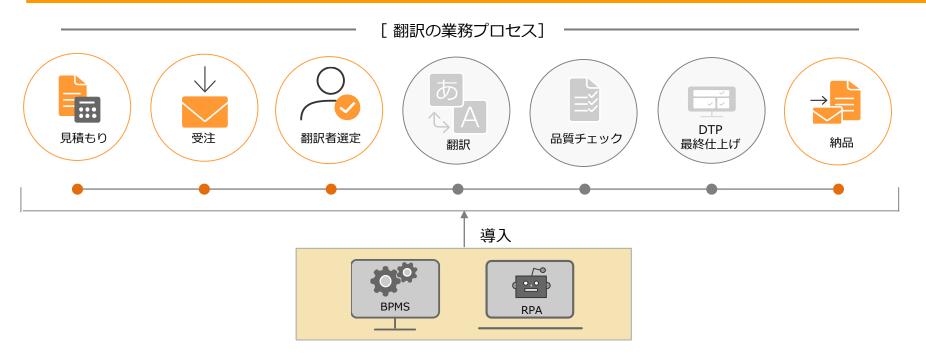
言語資産を活用し 効率化を実現





### 4. 経営基盤の整備 社内業務の効率化

- ・業務プロセスの標準化と自動化で生産性の向上を図る
- ・20/3期下期からの運用開始に向けて開発中



コーディネータの社内業務を効率化



### 5. 第四次中期経営計画 業績目標

### 重点施策の遂行を通じ、さらなる成長と収益性改善を追及

単位	:	白と	ヵ円	, 9	6

■業績目標	三次中計	四次中計							
	18年3月期 実績	19年3月期 実績	20年3月期 予想	21年3月期 目標	CAGR				
売上高	10,618	12,008	12,600	13,600	8.6				
営業利益	802	900	1,030	1,300	17.5				
当期純利益	566	630	680	850	14.5				
■経営指標	三次中計		四次中計						
	18年3月期 実績	19年3月期 実績	20年3月期 予想	21年3月期 目標					
連結営業利益率	7.5%	7.4%	8.1%	10%	•				
自己資本利益率 (ROE)	15.2%	15.2%	14.7%	15%以上					



I. 翻訳センターとは

Ⅱ. 今後の戦略~第四次中期経営計画

Ⅲ. 2020年3月期 通期予想と1Q実績

Ⅳ. 株主還元



### 1. 2020年3月期 通期予想と1Q実績

#### 売上高・利益ともに三期連続の過去最高を予想

単位:百万円、%、円

	2020/3期 (予)	2019/3期	伸率	2020/3期 1Q	2019/3期 1Q	伸率
売上高	12,600	12,008	4.9	2,735	2,886	△5.2
営業利益	1,030	900	14.3	88	169	△48.0
経常利益	1,030	905	13.8	91	172	△47.3
親会社株主に帰属する 当期/四半期純利益	680	630	7.9	56	134	△58.4
1株当たり 当期/四半期純利益	204.90	187.39	_	16.88	40.02	_
1株当たり配当金	42.0	35.0	_	_	_	_

<sup>※</sup>表中の百万円未満および小数点第二位は、全て切り捨てて表示しております。

<sup>※2018</sup>年4月1日に普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており「1株当たり四半期純利益」については前期首に株式分割が行われたと 仮定して 算定した数値を記載しています。



<sup>※2020</sup>年3月期通期予想においてはUS1ドル=110.00円、2020年3月期第1四半期においてはUS1ドル= 110.27円で換算しております。

### 2. 事業別売上高 通期予想と1Q実績

単位:百万円、%

	2020/3期 (予)	2019/3期	伸率
翻訳事業	8,978	8,506	5.5
特許	2,227	2,139	4.1
医 薬	3,077	2,897	6.2
工業・ ローカライゼーション	2,895	2,725	6.2
金融・法務	779	744	4.7
派遣事業	1,240	1,192	4.0
通訳事業	1,100	1,039	5.8
コンベンション事業	640	677	△5.5
その他	642	593	8.3
売上高合計	12,600	12,008	4.9

	·	- III / JI JI / O
2020/3期1Q	2019/3期1Q	伸率
1,887	2,047	△7.8
581	497	16.9
595	727	△18.2
519	621	△16.4
191	200	△4.8
299	310	△3.7
285	221	29.0
157	135	16.7
105	172	△38.4
2,735	2,886	△5.2



<sup>※</sup>表中の百万円未満および小数点第二位は、全て切り捨て表示しております。

<sup>※</sup>その他には語学教育事業、外国出願支援事業などが含まれます。

### 3. 損益計算書 通期予想

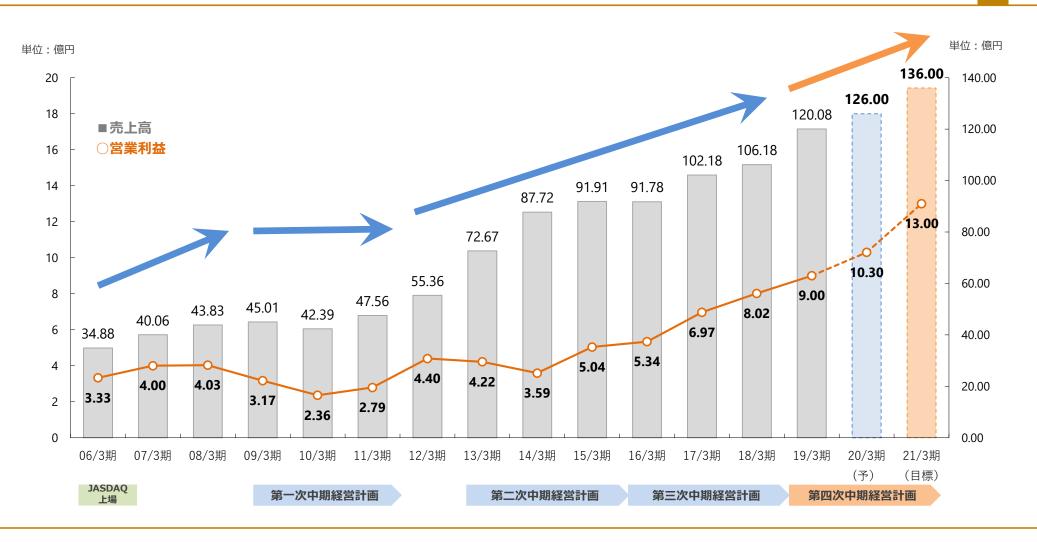
単位:百万円、%

	2020/3期					
	(予)	増減	伸率	売上比	2019/3期	売上比
売上高	12,600	592	4.9	100.0	12,008	100.0
売上原価	7,070	71	1.0	56.1	6,999	58.3
売上総利益	5,530	521	10.4	43.8	5,009	41.7
販売費及び一般管理費	4,500	392	9.5	35.7	4,108	34.2
営業利益	1,030	130	14.3	8.1	900	7.4
営業外損益	_	△5			5	0.0
経常利益	1,030	125	13.8	8.1	905	7.5
特別損益		△50		_	50	0.4
親会社株主に帰属する当期純利益	680	50	7.9	5.3	630	5.2

<sup>※</sup>表中の百万円未満および小数点第二位は、全て切り捨てて表示しております。



### 4. 業績推移





I. 翻訳センターとは

Ⅱ. 今後の戦略~第四次中期経営計画

Ⅲ. 2020年3月期 通期予想と1Q実績

Ⅳ. 株主還元



### 1. 株主還元

#### 利益成長に応じた継続的な増配を志向



HONYAKU CENTER

## 参考資料



### 1. 事業セグメントおよびグループ会社 一覧

	翻訳 事業	通訳 事業	派遣 事業	コンベンション 事業	その他
翻訳センター	•				•
アイ・エス・エス		•	•	•	
アイ・エス・エス・ インスティテュート					•
外国出願支援サービス					•
パナシア	•				
HC Language Solutions, Inc.	•				
メディア総合研究所	•				

※2015年4月設立のランゲージワン(株)(多言語コンタクトセンター事業)は持分法適用会社につき、事業セグメントには含まれておりません。 ※アイ・エス・エス・インスティテュートが展開する語学教育事業は2019年3月期第1四半期よりその他のセグメントに含めた報告に変更しております。



### 2. 連結業績推移

	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期
売上高(百万円)	8,772	9,191	9,178	10,218	10,618	12,008
経常利益(百万円)	359	502	534	699	812	905
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	179	283	430	444	566	630
資本金(百万円)	588	588	588	588	588	588
発行済株式総数(株)(※1)	1,684,500	1,684,500	1,684,500	1,684,500	1,684,500	3,369,000
純資産額(百万円)	2,587	2,815	3,126	3,477	3,939	4,350
総資産額(百万円)	4,063	4,501	4,657	5,111	5,741	6,486
自己資本比率(%)	63.6	62.5	67.1	68.0	68.6	67.0
売上高経常利益率(%)	4.1	5.4	5.8	6.8	7.6	7.5
<b>従業員数(人)</b>	392	405	393	413	518	507
登録者数(人)(※2、3)	4,061	4,203	4,355	4,428	4,221	2,889

<sup>※1 2013</sup>年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施 また2018年4月1付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施

<sup>※3 2019/3</sup>期よりカウント方法を一部変更、 一定期間発注実績のない方を除外した数値としています。



<sup>※2</sup> 翻訳センター単体登録者数(2015年11月より変更)

### 3. 事業別業績推移

単位:百万円

	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期
翻訳事業	6,155	6,493	6,727	7,035	7,593	8,506
特 許	1,713	1,730	1,799	1,824	1,880	2,139
医 薬	2,113	2,257	2,376	2,445	2,744	2,897
工業・ローカライゼーション	1,799	1,911	1,917	2,020	2,239	2,725
金融・法務	529	594	633	745	729	744
派遣事業	1,348	1,310	881	900	1,127	1,192
通訳事業	584	646	632	783	933	1,039
語学教育事業	208	214	213	210	197	_
コンベンション事業	ı	410	550	1,107	496	677
その他	475	115	171	180	269	593
売上高合計	8,772	9,191	9,178	10,218	10,618	12,008

※2019年3月期第1四半期より語学教育事業はその他のセグメントに含めて報告しております。なお本表は変更前の事業セグメントで構成しています。



### 4. 損益計算書 推移

単位:百万円、%

									3/1/17/ 70			
	2014	1/3期	2015		2016		2017		2018	3/3期	2019	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
売上高	8,772	100.0	9,191	100.0	9,178	100.0	10,218	100.0	10,618	100.0	12,008	100.0
売上原価	4,949	56.4	5,090	55.4	5,307	57.8	6,026	58.9	6,112	57.5	6,999	58.2
売上総利益	3,822	43.6	4,100	44.6	3,871	42.2	4,191	41.0	4,506	42.4	5,009	41.7
販売費及び一般管理費	3,458	39.4	3,595	39.1	3,336	36.3	3,494	34.2	3,704	34.8	4,108	34.2
営業利益	364	4.1	504	5.5	534	5.8	697	6.8	802	7.5	900	7.4
営業外収益	5	0.1	6	0.1	3	0.0	5	0.0	10	0.0	5	0.0
営業外費用	9	0.1	8	0.1	3	0.0	3	0.0	0	0.0	0	0.0
経常利益	359	4.0	502	5.5	534	5.8	699	6.8	812	7.6	905	7.5
特別損益	1	0.0	35	0.4	142	1.5	1	0.0	12	0.0	50	0.4
税金等調整前当期純利益	358	4.1	538	5.9	676	7.4	700	6.9	824	7.7	954	7.9
親会社株主に帰属する当期純利益	179	2.0	283	3.1	430	4.7	444	4.3	566	5.3	630	5.2
	İ										i	
販売費及び一般管理費	3,458	100.0	3,595	100.0	3,336	100.0	3,494	100.0	3,704	100.0	4,108	100.0
人件費	2,394	69.2	2,622	72.9	2,362	70.8	2,537	72.6	2,653	71.6	2,878	70.0
人件費以外	1,064	30.8	973	27.1	973	29.2	957	27.4	1,051	28.4	1,230	30.0



### 5. 賃借対照表 推移

単位:百万円

	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期
(資産の部)						
流動資産	3,299	3,856	4,097	4,632	4,668	5,220
固定資産	763	645	559	478	1,072	1,265
資産合計	4,063	4,501	4,657	5,111	5,741	6,486
(負債の部)						
流動負債	1,279	1,545	1,435	1,543	1,718	1,974
固定負債	196	141	95	90	83	161
負債合計	1,475	1,686	1,531	1,633	1,801	2,135
(純資産の部)						
I. 株主資本	2,560	2,767	3,094	3,449	3,923	4,332
Ⅱ. その他の包括利益累計額	27	47	31	28	15	17
Ⅲ. 少数株主持分	_	_	_	_	_	_
純資産合計	2,587	2,815	3,126	3,477	3,939	4,350
負債純資産合計	4,063	4,501	4,657	5,111	5,741	6,486



#### 株式会社翻訳センター 経営企画室

TEL:03-6369-9963 E-mail:ir@honyakuctr.co.jp

URL : http://www.honyakuctr.com/

本資料は、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘するものではありません。 本資料に掲載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または 約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

